

情勢報告

今年は一気に普及拡大だ！～「環境制御技術普及促進事業」説明会の開催



メーカーによる機器の説明を熱心に聞く生産者

農業改良普及課は、ＪＡ土佐あき、関係市町村と連携して「環境制御技術普及促進事業説明会」と「対象機器説明展示会」を主催しました。事業説明会は、３月２４日の羽根会場を皮切りに、２５日芸西・赤野、２９日安芸市、４月４日安田・奈半利で開催し、事業内容や今後のスケジュール等の説明を行いました。４月５日には「事業対象機器の説明・展示会」を開催し、計１８０人以上のたくさんの生産者の参加がありました。

生産者からは「機器選定の参考になった」「細霧装置や日射比例灌水装置の施工は間に合うのか」「対象機器が増えたが融資は受けられるのか」等の声が聞かれました。

今後は、計画的な事業推進をサポートし、環境制御技術の更なる導入・定着を広く進めて行きます。

篤農家技術を学ぼう！唐浜集出荷場研究会ナス部会が現地検討会を開催



炭酸ガス発生機の設定に興味津々の生産者

３月１８日、唐浜集出荷場研究会ナス部会が安芸市穴内地区で環境制御技術の先進地視察を開催し、生産者６人が参加しました。

生産者からは「芽吹きが良い」「葉が良い」「炭酸ガスは十分に施用しないといけない」などの声があり、環境制御技術への関心が高まりました。

農業改良普及課は、環境制御技術普及促進事業の紹介と３月以降のかん水管理およびフザリウム立枯病について情報提供しました。

今後もＪＡと連携して、環境制御技術の導入を推進すると共に時期にあった情報を提供し、部会活動を支援していきます。

中芸集出荷場園芸研究会ナス部会が現地検討会と勉強会を開催



病害対策の説明をする普及指導員

４月１４日、安田町で中芸集出荷場園芸研究会ナス部会現地検討会と勉強会が開催され、１１人が参加しました。参加者から「４月になって着果量が増えた」「今年は収穫量の山谷が大きい」といった意見が出て、灌水や施肥管理等について熱心に情報交換を行いました。

農業改良普及課は、今期の気象や着果量に応じた灌水管理と多発している黒枯病、すすかび病等の病害対策について講習しました。

ＪＡは４月から始まった環境制御技術普及促進事業を紹介しました。

今後もＪＡ等関係機関と連携して環境制御技術の普及、収量増加や品質向上につながる活動を支援していきます。

情勢報告

J A 土佐あき柚子部 東川支部でユズの栽培勉強会を開催



説明を聞き、資料に目を通す参加者

4月14日、J A 土佐あき柚子部が東川支部で、ユズの春先の管理についての栽培勉強会を開催し、生産者25人が参加しました。

農業改良普及課は、管内のユズの発芽状況や気象状況についてデータを用いて情報提供を行うとともに、ユズの生理生態にもとづいた4月～5月にかけての栽培管理や防除方法等について指導しました。

農業改良普及課は、J A と連携して今後も定期的に勉強会を開催し、適期防除等の指導を行うことで、果実品質の向上及び生産者の所得向上を支援していきます。

ポンカンの一元出荷販売打合せ会を開催



打合せ会の様子

4月19日にJ A 土佐あき吉良川支所で、東洋地区及び吉良川地区のポンカン部会役員4人とJ A、振興センターが出席して、今作から始まるポンカンの一元出荷及び光センサー選果機導入についての打合せ会が行われました。

農業改良普及課からは、H25～27年産の出荷果実の個別分析データのとりまとめを示して、光センサー選果基準について助言を行いました。J A から示された出荷規格、販売方法、光センサー選果基準等について部会役員から意見や質問が出され、各部会に下ろす内容が決定しました。

今後、各部会で部員の意見を聞き、6月に開催予定の次回打合せ会で再度検討していきます。

今年も良質の酒米を生産するぞ！－「吟の夢」酒米暦検討会－



全員で栽培暦の内容を検討中

4月6日、安芸市入河内の安芸市東川農林センターで、「吟の夢」酒米暦検討会が開催され、J A 安芸市特産部酒米研究会のメンバー9人とJ A 担当者2人、農業改良普及課1人が参加し、今年の栽培計画について確認しました。

検討会では、J A から田植え日や施肥基準、使用農薬等の暦の説明と部会の年間活動計画の周知が行われました。

農業改良普及課は、27年産の品質分析の結果、全員が「吟の夢」の品質目標値を超えているが、反収にばらつきがあったことを報告しました。収量も確保するために栽植密度の見直しを提案したところ、実証ほを設置して検討することが決まりました。

農業改良普及課は、実証ほや部会活動を通じて今後も品質と収量の向上を支援します。

情勢報告

第 6 回百石地区集落営農準備会を開催（奈半利町）



集落営農ビジョンについて協議する参加者

4 月 4 日に奈半利町百石地区集会所で第 6 回百石地区集落営農準備会が開催され、百石地区の住民 5 人及び奈半利町役場、J A 土佐あき、振興センターが参加しました。

準備会では、集落ビジョンの作成や第 2 回集落アンケート調査結果を踏まえて、今後の組織体制や活動内容等について協議しました。

農業改良普及課は農作業料金の設定の考え方や鳥獣害対策について情報を提供しました。役場からは、集落活動センターの取組等について情報提供がありました。

百石地区の住民からは、「組織として、まずは地域内で耕作できなくなった農地を活用し水稻を栽培したい」という方向性が出されました。

農業改良普及課は、今後も組織設立に向けて地区の話し合いの進捗状況に応じた支援をしていきます。

東風グループ 新商品販売に向けて検討会を開催



「プレミアムてまいら酢」検討会の様子

4 月 14 日に、安芸市東川集会所で東風グループが、新商品「プレミアムてまいら酢」の販売に向けて検討会を開催しました。

農業改良普及課は、販売手数料を反映させた売価の算定方法等の情報提供を行いました。その後、グループ員は、原材料費にすでに販売している「てまいら酢」の加工時間を参考にした加工労賃を加えた 1 本あたりの生産原価を算出し、販売先の手数料を考慮して売価設定を行いました。

グループ員からは、売価設定と併せて「ユズの葉を型取った紙にレシピを掲載しよう」「キャップを緑にしよう」などユズを連想させる工夫についてのアイディアも出されました。

今後、農業改良普及課では、販売計画や販売時の P R 方法等テスト販売の取組を支援します。